

第2学年 図画工作科学習指導案

日 時 令和3年7月1日(木) 5校時
 児 童 2年1組 男11名 女13名 計24名
 難聴学級 女1名 計25名
 指 導 者 及川 世津

1 題材名

くしゃくしゃ ぎゅっ (日本文教出版 2年)

2 題材の目標・評価

(1) 目 標

- ①自分の感覚や行為を通して、形や色などに気付く。
- ②大きな紙や紐などの材料に慣れるとともに、手や体全体の感覚を働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表す。 【知識及び技能】
- ③くしゃくしゃにする紙の感触や形から、表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろな形の色を考えたりしながら、どのように表すかについて考える。
- ④自分のイメージをもちながら、自分たちの作品や紙や紐などの造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 【思考力、判断力、表現力等】
- ⑤楽しくくしゃくしゃにした紙から、思いついた物を立体に表す学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする。 【学びに向かう力、人間性等】

(2) 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①自分の感覚や行為を通して、形や色などに気付いている。 ②紙や紐などに十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫している。	①形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、紙をくしゃくしゃにして感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、好きな形や色を選びながら、どのように表すかについて考えている。 ②形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品や紙や紐などの造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	①つくりだす喜びを味わい、楽しく表現する学習活動に取り組もうとしている。

3 題材の指導にあたって

本題材では、沼中FSで目指す資質能力の「③コミュニケーション能力」について、目指す学びの姿「協働的な追究」を重点として実践する。

「協働的な追究」の段階では、コミュニケーション能力を培っていくために、活動の中盤で友だちの作品を見る時間を設け、友だちの作品の良いところ伝えたり、どんな表し方をしたのか質問したり

することができるようにする。また、友だちと交流しやすい環境作りをする。

また、「問いをもつ」段階に、1年生で学習したことについて振り返る活動を設定し、新しい挑戦に対する意欲を掻き立てることで主体性を高めていく。

4 指導計画（全3時間）

時	主な学習活動	評価の観点		
		知・技	思判表	主体性
1 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> 紙袋をくしゃくしゃにして紙の感触を楽しむ。 様々な作り方を試し、自分が表したい形を見付ける。 くしゃくしゃにした紙から作りたい物をイメージしながら楽しく活動することができる。 	①	①	①
2	<ul style="list-style-type: none"> 様々な作り方を試し、自分が表したい形を見付ける。 	②		
3	<ul style="list-style-type: none"> 友だちと作品を鑑賞し、作品の面白さや楽しさを感じ取る。 		②	

5 本時の指導

(1) 目標

- 紙袋をくしゃくしゃにして紙の感触を楽しむ。
- くしゃくしゃにする紙の感触や形から、表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろな形の色を考えたりしながら、どのように表すかについて考える。
- くしゃくしゃにした紙から作りたい物をイメージしながら楽しく活動する。

(2) 本時の評価規準

- 紙袋をくしゃくしゃにして紙の感触を楽しんでいる。 【知識・技能-①】
- くしゃくしゃにする紙の感触や形から、表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろな形の色を考えたりしながら、どのように表すかについて考えている。 【思考・判断・表現-①】
- くしゃくしゃにした紙から作りたい物をイメージしながら楽しく活動している。 【態度】

(3) FS授業作りに関わる手立てや工夫について

協同的な追究：大きな紙を広げても話し合いがしやすいように、広いフロアで活動をさせる。紙袋を縛ることで出来た形について、何に見えるか根拠を明らかにしながら話し合い、自分が作りたいイメージにつなげていけるようにしたい。

(4) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点（◆評価）
問 い を も つ 10 分	1 これまでの学習を振り返る。 ・紙を立てた。破いた形から想像した。折り紙を折った。てるてる坊主を作った。 (筒にする。捻る。丸める など)	・紙を使ってした学習を振り返り、本題材で既習内容を使えるようにする。

	<p>2 課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> くしゃくしゃ ギゅっ どんな友だちが できるかな </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「くしゃくしゃ」「ぎゅっ」という言葉から、本時の活動を予想し、活動の見通しをもつ。 ・紙をくしゃくしゃにして、紙の感じが変わっていくことに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ぎゅっ」は、だきしめたり、縛ったりすること、紙でマスコットのような形を作る活動であることをつかめるようにする。 <p>◆紙袋をくしゃくしゃにして紙の感触を楽しんでいる。 【態度・発言】</p>
<p>協働的な追究</p> <p>30分</p>	<p>3 課題を解決する。</p> <p>(1) 試す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回縛る。 <p>(2) 縛った形から想像した形を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見付けた形が何に見えるか、アイデアを出し合う。(魚、人の形 など) <p>(3) 自分が作りたいイメージに合わせて、形にする。</p>	<p>F Sの視点【協同的な追究】</p> <p>本時の「縛る」という活動に個人差が大きく、難しいことが予想される。友だちと関わり、協力しながら活動することで、紙で形を作ることを楽しめるようにしたい。また、フロアで活動することで、自由に友だちと作品を見合いながらどの子も活動できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動と交流を繰り返し、アイデアが広がらない場合には、教科書の例を活用する。 ・何度もやり直して良いことを伝え、試しながら発想できるようにする。 ・どこをどのように縛るかによって、様々な形に見立てられることを整理し、作りたい形のイメージをもてるようにする。 <p>◆くしゃくしゃにする紙の感触や形から、表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろな形の色を考えたりしながら、どのように表すかについて考えている。</p> <p>【発言・態度・作品】</p>
<p>自己を見つめる</p> <p>5分</p>	<p>4 振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できた形を紹介する。 ・友達か作った形の良いところを発表する。 ・友達のアイデアから取り入れたことやアドバイスしてもらったことを紹介する。 <p>5 次の活動への見通しをもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっとすてきな友だちにする方法を考える。(目を付けたい。色があるといい。リボンを付けたいなど) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の活動を振り返り、楽しさや出来たことを見つけ、充足感を味わえるようにする。 ・友だちのアイデアのよかったこと、取り入れたことなどを発表し、認め合えるようにする。 <p>◆くしゃくしゃにした紙から作りたい物をイメージしながら楽しく活動している。 【発言・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次時は飾り付けをして、もっと素敵な友だちを完成させることを確認する。

